

主催：公益財団法人 東京都人権啓発センター 後援：東京人権啓発企業連絡会

令和7年度 東京都人権啓発センター人権啓発行事

人権と出会う映画祭

2026年

1月24日(土) ~ 27日(火)

日比谷図書文化館 日比谷コンベンションホール
東京都千代田区日比谷公園1-4 地下1階

TOKYO HUMAN RIGHTS
CINEMA FESTIVAL



1月24日
(土)

A

ろう文化 / CODA / 手話



ぼくが生きてる、ふたつの世界

宮城県の港町で育った大は、耳の聴こえない両親の“通訳”を幼い頃から担ってきた。成長するにつれ、周囲からの視線に戸惑い、母の明るさすら疎ましく感じるようになる。やがて上京し、都会で新しい生活を始めるが、二つの世界を生きる自身のアイデンティティと向き合うことになる。

2024年、日本、105分、ドラマ、監督：呉美保

©五十嵐大 / 幻冬舎 ©2024「ぼくが生きてる、ふたつの世界」製作委員会

バリアフリー
日本語字幕

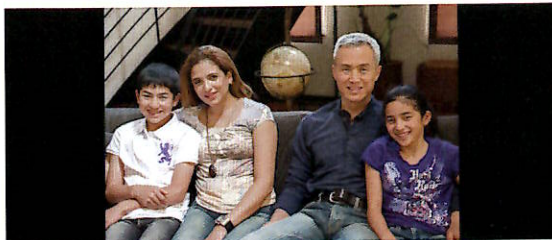


音声ガイド



B

多文化 / ミックスルーツ / アイデンティティ



HAFU / ハーフ

両親のどちらかが外国籍のいわゆる「ハーフ」と呼ばれる人々。異なる文化、異なる世界の狭間に生きる人たちの経験から浮き彫りにされる日本社会の姿とは。“単一民族”とされてきた日本における多文化共生の可能性を探る。

2013年、日本、87分、ドキュメンタリー、監督・撮影：西倉めぐみ / 高木ララ

日本語字幕

上映後イベント：トーク

田口ローレンス吉孝 (沖縄大学地域研究所特別研究員)

1月25日
(日)

C

女性 / 参政権 / ジェンダー



未来を花束にして (原題:Suffragette)

1910年代のイギリス。洗濯工場で働く女性が友人に代わって劣悪な労働環境を公聴会で証言したことで参政権獲得運動に身を投じていく。彼女は家庭や仕事を失う犠牲を払いながらも未来を切り拓くために闘う。

2015年、イギリス、106分、ドラマ、監督：サラ・ガブロン

© Pathe Productions Limited, Channel Four

Television Corporation and The British Film Institute

日本語字幕

音声ガイド



D

性暴力被害 / 報道の自由 / 尊厳の回復



スポットライト 世紀のスcoop (原題:Spotlight)

ボストン・グローブ紙の特別取材班「スポットライト」は、教会関係者による児童虐待事件の真相を追う。数百人規模の被害者と組織的隠蔽の実態を突き止め、世界を震撼させるスcoopを世に送り出す。

2015年、アメリカ、128分、ドラマ、監督：トム・マッカーシー

Photo by Kerry Hayes © 2015 SPOTLIGHT FILM, LLC

日本語字幕



上映後イベント：トーク

大藪順子 (フォトジャーナリスト)

1月26日
(月)

E

無国籍者 / ヤングケアラー / 社会的排除



市子

3年間同居していた恋人・長谷川からプロポーズを受けた翌日、市子は忽然と姿を消す。途方に暮れる長谷川のもとに刑事が現れ、市子の過去を追う中で、彼女が無戸籍のまま生きてきたことや、壮絶な人生の秘密が次々と浮かび上がる。

2023年、日本、126分、ドラマ、監督：戸田彬弘

©2023 映画「市子」製作委員会

バリアフリー
日本語字幕



音声ガイド





カランコエの花

高校で突然行われた「LGBTについての授業」。生徒たちは「誰のために開かれたのか」と憶測を巡らせ、クラス内に微妙な空気が広がる。噂にさらされる生徒たちの心情を通じて、多様性と偏見、そして「自分らしく生きること」の意味を問いかける。

2016年、日本、39分、ドラマ、監督：中川駿

バリアフリー
日本語字幕

音声ガイド

上映後イベント：トーク

長村さと子（「ふたりのまま」監督、一般社団法人こどもまっぴぐ共同代表）/ アーヤ藍（映画キュレーター）



片袖の魚

東京で暮らすトランスジェンダー女性・ひかりは、理解ある友人や職場の仲間に支えられながらも、心の奥に言葉にできない壁を抱えていた。ある日、故郷へ出張することになり、高校時代の同級生に現在の自分を見てほしいと勇気を出して連絡する。

2020年、日本、34分、ドラマ、監督：東海林毅

©みのむしフィルム

バリアフリー
日本語字幕

音声ガイド



ふたりのまま

同性婚が認められていない日本では、多くの同性カップルが関係性を隠して暮らしている。カメラは子どもを育てる、あるいは望む4組のカップルの日常を追い、愛情や悩み、法制度への不安を記録する。彼らの声を通じて「家族とは何か」を問い直す。

2025年、日本、88分、ドキュメンタリー、監督：長村さと子

©一般社団法人こどもまっぴぐ

バリアフリー
日本語字幕

音

字

音声ガイド

1月27日
(火)



関心領域 (原題: The Zone of Interest)

アウシュビッツ強制収容所の所長ルドルフ・ヘスは、妻と子どもたちと共に収容所の隣に邸宅を構え、理想的な家庭生活を送っていた。しかし壁の向こうでは、銃声や悲鳴が響き、煙突から灰が舞い続けている。映画は暴力を直接描かず、地獄の現実と並存する平穏な日常を静かに映し出す。

2023年、アメリカ/イギリス/ポーランド、105分、ドラマ、監督：ジョナサン・グレイザー
©Two Wolves Films Limited, Extreme Emotions BIS Limited, Soft Money LLC and Channel Four Television Corporation 2023. All Rights Reserved.

日本語字幕

G

映倫



はる 杓かなる

ALSの診断を受けた佐藤裕美さんは、身体を失いながらも詩を綴り続けていた。やがて同じ病を抱える岡部宏生さんと出会い、文字盤を通じて「生きることを一緒に考えたい」と語り合う。二人は旅に出て、喪失と希望を繰り返しながら「生きる証」を見つめていく。

2024年、日本、124分、ドキュメンタリー、監督：中央大裕

©「杓かなる」上映委員会

バリアフリー
日本語字幕

音声ガイド

上映後イベント：トーク

中央大裕(監督)



破戒

瀬川丑松は、亡き父から「被差別部落出身であることを隠し通せ」と戒められ、地元を離れて小学校教師となる。生徒に慕われながら、出自を隠す苦しみと苛まれ、土族出身の女性への恋心にも葛藤する。やがて差別の現実と直面し、丑松は人生の大きな決断を迫られる。

2022年、日本、119分、ドラマ、監督：前田和男

©全国水平社創立100周年記念映画製作委員会

バリアフリー
日本語字幕

HELLO MOVIE

音声ガイド

G

映倫

○プログラム

	1月24日(土)	1月25日(日)	1月26日(月)	1月27日(火)
10:00		10:00 C 未来を花束にして 106分		10:00 G 関心領域 105分
11:00				
12:00		休憩・入替		休憩・入替
13:00	13:00 A ぼくが生きてる、 ふたつの世界 105分	13:00 D スポットライト 世紀のスcoop 128分	13:00 E 市子 126分	13:00 H 杳かなる 124分
14:00				
15:00	休憩・入替	15:15 トーク 大藪 順子	休憩・入替	15:15 トーク 穴戸 大裕
16:00	16:00 B HAFU/ハーフ 87分		16:00 F カランコエの花 39分	休憩・入替
17:00			16:45 片袖の魚 34分 休憩 15分	17:00 I 破戒 119分
18:00	17:35 トーク 田口ローレンス 吉孝		17:35 ふたりのまま 88分	
19:00			19:10 トーク 長村 さと子/アーヤ藍	
20:00				

○主催者あいさつ

お互いを認め、尊重しあうには、他者への理解と関心、そして想像力が不可欠です。映画には私たちの想像力を育み、他者に共感し、視野を広げる「力」があります。そうした映画の数々を「人権の視点」から改めて鑑賞する4日間。「人権の視点」を持つことで、映画の楽しみ方はもっと変わるはず。視点が変われば世界は変わる。スクリーンに映し出される物語のなかに、人権を実現する「ヒント」をいっしょに探してみませんか。

○お申し込み方法

開催日ごとの専用フォームからお申し込みください。1日1プログラムまで(2名様まで)

1月24日(土)



<https://form.run/@festival2026-02-01>

1月25日(日)



<https://form.run/@festival2026-02-02>

1月26日(月)



<https://form.run/@festival2026-02-03>

1月27日(火)



<https://form.run/@festival2026-02-04>

○定員

各回170名(各回入替制/全席自由)

○料金・申込み

無料 / 事前申込制 / 先着順
(当日券を発行する予定です。詳細はHPをご覧ください)

○開場

各回上映開始時刻の20分前

○情報保障

手話通訳・UDトーク
託児サービスあり(要事前申込:1月16日まで)

○お問い合わせ

公益財団法人 東京都人権啓発センター
〒105-0014
東京都港区芝二丁目5番6号 芝256スクエアビル 2階

電話: 03-6722-0085

mail: fukyu3102@tokyo-jinken.or.jp

HP: <https://www.tokyo-jinken.or.jp/>



○申込締切

2026年1月22日(木) 正午

○会場アクセス

日比谷図書文化館 日比谷コンベンションホール 東京都千代田区日比谷公園1-4 地下1階



- 東京メトロ丸の内線・日比谷線「霞ヶ関駅」B2出口より徒歩約3分
- 都営地下鉄三田線「内幸町駅」A7出口より徒歩約3分
- 東京メトロ千代田線「霞ヶ関駅」C4出口より徒歩約3分
- JR新橋駅日比谷口より徒歩約10分

※駐車場・駐輪場はございません。
公共交通機関をご利用下さい。